

2015 年度 関西学院大学自己点検・評価
 < C 票 > 第三者評価結果 【社会学部】

教育研究目標 1

1. 6 年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と 6 年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と 6 年後のめざす姿（目標）との関係性 （※ 6 年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3 名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 記述そのものは抽象的だが、行動計画の評価指標を合わせて考えれば具体的であるといえる。（評価者 A） ・ 主体的・能動的な学習態度を育成することを目的としているため。（評価者 B） ・ めざす学生の姿と目標の間に整合性がある。（評価者 C）
「具体的でない」 0 名	<u>左記を選択した理由：</u>
その他気づいた点：	
6 年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された 6 年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸ばさせる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 社会学部の特長を伸ばさせる、意欲的かつ適切な内容の目標設定であると考えられる。（評価者 A） ・ ①②③④とも妥当、適切です。（評価者 B） ・ 内容は十分妥当で評価できる。（評価者 C）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 全体の指標は設定されていないが、行動計画の評価指標は適切である。（評価者 A） ・ 妥当です。（評価者 B） ・ 尺度は妥当である。（評価者 C）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u><評価者からのコメント></u> ・ 適切なスケジュール設定である。（評価者 A） ・ 適切です。（評価者 B） ・ スケジュールは適切である。（評価者 C）

教育研究目標 2

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 (※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか)	
「具体的である」 3名	<p>左記を選択した理由：</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の内容と「専攻分野」の学習内容との一致の指標化は意欲的で具体的な取り組みであるといえる。（評価者A） ゼミの履修指導などにより改善を行おうとしているため。（評価者B） 目標とめざす姿の関係性が高い。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<p>左記を選択した理由：</p>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
<p>目標の内容</p> <p>（設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取り組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> 社会学部の特長を伸長させる、意欲的かつ適切な内容の目標設定であると考えられる。（評価者A） ①②③④とも妥当、適切です。（評価者B） 内容は適切で具体的である。（評価者C）
<p>評価指標</p> <p>（目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> 全体の指標は設定されていないが、行動計画の評価指標は適切である。（評価者A） 妥当です。（評価者B） 評価尺度は妥当である。（評価者C）
<p>目標達成スケジュール</p> <p>（目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> 適切なスケジュール設定である。（評価者A） 適切です。（評価者B） スケジュール設定は適切である。（評価者C）

教育研究目標 3

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 社会調査に基づいた卒業論文の比率、「社会調査士」資格の取得数という指標は、具体的かつ適切である。（評価者A） ・ 現在以上に、社会調査についての知識と技能にもとづいた、社会で求められる「社会調査の実践力」を育成することを目標としているため。（評価者B） ・ 目標が具体的に関連付けられている。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<u>左記を選択した理由：</u>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取り組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 社会学部の特長を伸長させる、意欲的かつ適切な内容の目標設定であると考えられる。（評価者A） ・ ①②③④とも妥当、適切です。（評価者B） ・ 内容は容易に理解でき適切である。（評価者C）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 全体の指標は設定されていないが、行動計画の評価指標は適切である。（評価者A） ・ 妥当です。（評価者B） ・ 評価尺度は具体的に数値で表すことができる。（評価者C）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u><評価者からのコメント></u> ・ 適切なスケジュール設定である。（評価者A） ・ 適切です。（評価者B） ・ スケジュール設定は適切である。（評価者C）

教育研究目標 4

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 (※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか)	
「具体的である」 3名	<p>左記を選択した理由：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フュージョンプログラムへの参加学生数の増加という具体的指標を明確にしておき、年度毎の目標値を設定している。（評価者A） ・ 学生の確かな英語力を確保して海外への派遣（交換留学、中期留学、外国語研修等）を容易にするとともに、「フュージョン（融合）プログラム」への参加を促進し、グローバル化する現代社会で活躍できる人材を育成していくことを目標としているため。（評価者B） ・ 教育目標とめざす姿との整合性が高い。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<p>左記を選択した理由：</p>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
<p>目標の内容</p> <p>（設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会学部の特長を伸長させる適切な内容をもった意欲的取り組みであり、数値目標も妥当である。（評価者A） ・ ①②③④とも妥当、適切です。（評価者B） ・ 内容は意欲的でチャレンジングなものである。（評価者C）
<p>評価指標</p> <p>（目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フュージョンプログラムへの参加学生数という指標と尺度は妥当であろう。（評価者A） ・ 妥当です。（評価者B） ・ 数値化されており具体的である。（評価者C）
<p>目標達成スケジュール</p> <p>（目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切なスケジュール設定と考えられる。（評価者A） ・ 適切です。（評価者B） ・ スケジュールは適切な長さである。（評価者C）